

第2回和田地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成24年1月19日(木) 午後7時
会場 和田コミュニティセンター 研修会議室
出席委員 19名
欠席 三浦委員・堀井委員・青木委員・吉田委員
傍聴 2名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

みなさんこんばんは。今日は和田地区の幼稚園及び小中学校の再編計画について説明を受けまして皆さん御検討いただきまして良い会議にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. 教育長あいさつ

こんばんは。後で具体的な提案をさせていただきますが、非常に厳しい状況の中にあると考えています。私どもは合併特例債もあり、財政的にまだ余裕があるかと思っておりましたが、24年度予算を編成していますけど、非常に厳しい状況になってきています。教育委員会の予算も大分削らなくてはいけない状況にもなっています。その中で本地区の幼稚園、小学校、中学校の再編につきまして資料を基に皆様方から御意見いただければ大変ありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4. 報告

第1回会議検討結果報告について

質疑等特になし

5. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

(傍聴人入場)

委員長 本日の出席委員人数は19人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。第1号「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画について」を議題といたします。事務局より説明いたします。

事務局 平成23年12月に改正された南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画を説明。

委員長 事務局から市内全体の再編計画について説明がありましたが、何か質疑はありますか。

委員 複式学級の数、極端な少人数、中学校の1学年2学級以上になる人数に

ついて伺いたい。

事務局 複式学級は、1年生を含めた場合は8人以下、2年生から6年生については、連続する2学年で16人以下。中学生については、連続する2学年で8人以下です。複数学級になる条件として基本的に現在40人学級編成となっていますので、1学年で41人居れば2クラスになります。しかし、小学校1年については、35人学級となります。また、県の制度で分けることも出来ませんが基本的には40人学級、35人学級となっています。それから極端な少人数ですが、複式学級にならない人数だとしても男女比のバランスが非常に悪く、例えば、男の子が8人で女の子が1人など、一方が極端に少なくなってしまうことも児童数が少ないと発生することも考えられるので、それも何とか解消する方向で考えてあげたい。

委員 わかりました。

委員長 他に質問がないようですので、前回も確認していますが市の全体計画に基づき、和田地区としても再編に向けて協議検討を進めていくものとします。委員の皆様よろしく申し上げます。

教育長 通学通園支援について、南房総市において新たな学校配置を設定した場合は、文部科学省が標準とした距離を超えた通学が想定されますとありますが、文部科学省が標準としたのが、学校統合が盛んに行われた昭和31年頃で、この当時の基準が小学校は2キロ、中学校は3キロです。それ以来変更がなかったが、ここ数年の文部科学省の作業部会等の議論の中で道路等のインフラの整備が進んでいることや交通機関が発達していることを踏まえ、自動車ですら1時間くらいの通学は通学範囲と考えては良いのでは、と議論もされています。私どもは概ね無理のない範囲、文部科学省で議論されている1時間程度で再編を考えていきたいと思っています。

委員長 次に第2号「和田地区の幼稚園及び小中学校再編（案）について」を議題とします。

事務局 和田地区の幼稚園及び小中学校再編（案）について。①幼稚園。和田地区及び丸山地区で1園に再編する。なお、和田地区内（南三原小学校区内）に幼保一体化施設を検討する。②小学校。和田地区及び丸山地区で1校に再編する。なお、和田地区内（南三原小学校区内）に新校舎を検討する。③中学校。和田中学校及び丸山中学校を統合する。校舎は丸山中学校を使用する。以上が市からの提案です。

委員長 事務局からの説明が終わりました。質疑をお願いします。

委員 小学校は和田地区内に新校舎を検討するとありますが、新しい校舎を建てるということですか。

事務局 考え方の1つとしてあるかと思います。和田地区の小学校で考えますと和

田小については、耐震補強がされていません。また、現状スクールバスの転回等には不向きである。南三原小については、海拔7.8mで管内では一番低い。そのようなことを踏まえると海拔も高い所に新しい校舎も考えていかなければいけないのかと思います。

- 委員長 他に何かありますか。
- 委員 和田地区及び丸山地区で1校と書いてあるが、和田地区で1校、丸山地区で1校なのか。2地区で1校なのか。
- 事務局 私どもの考えでは、和田地区丸山地区併せて1校1園。
- 委員 4校を1校にするという考え方ですか。
- 事務局 そう考えています。
- 委員 今後の進め方として1校にすることになった時の会議は一緒に進めていくことになりますか。
- 事務局 来週丸山地区で同じ資料に基づいて説明させていただきます。方向性が見えてこないといけませんが、いずれは一緒に会議を進めていかななくてはならないと思っています。
- 教育長 それぞれの地区で理解をいただいて、私どもが提案している和田・丸山で1校1園という方向性が出た段階で一緒にの会議にしていいただければと思います。
- 事務局 相手もいますし、今の段階では一方的な提案ですので所属の団体で議論しなければいけないことだと思います。皆さんだけでは決められない問題だと思います。両地区に同じような考え方を示して、協議していただき次の段階に進めていければと考えています。
- 委員 まずは和田地区の方向性をまとめて、両地区がまとまったら一緒になるのですね。
- 委員 例えば、和田は良くて丸山は嫌だとなれば私たちはどうなりますか。片方が嫌だとなれば話が進まなくなり難しいですね。
- 委員 和田は和田でやればいい。
- 委員 小学校幼稚園の問題が拗れることにより中学も拗れてきてしまうのではないかと。今お話があったとおり、地域と保護者の了解を得てからでないとい進められないと思うが、開校に向けての準備は丸一年かかってしまうと思うのでスケジュール的に間に合うか不安がある。スケジュールの目処は大体出来ているのか。
- 事務局 富浦・白浜地区においても3年間の最終年度については条例改正など統合に向けた細かい部分、通学支援やPTAはどうするかなど話し合っていくやり方でした。相手がいることなので、小学校・中学校どちらを先に進めていくかはわかりませんが、場合によっては中学校統合を先にしても良いと思います。

ます。

教育長 教育環境を早く変えたいという意見やこの地区に学校が有る無しの問題なのでじっくり話し合いたいという意見が出てくるかと思います。私どもとしては、ある程度のスケジュールは想定していますが、私どもの考えを押し付ける考えはありません。1年でも早くという要望が強ければ、私どもはそれに合わせて事務手続きなど頑張っていきます。もっと慎重にやっという体制でしたら協議を重ねていきます。色々な事が想定されますが丁寧にやっていきたいと思っています。丁寧にというのはゆっくりという意味ではなく、意見がある程度わかったら皆様方の意向に沿って進めていきたいと思っています。

委員長 早急に決めてしまうことは難しいことだと思うので、各団体にそれぞれが持ち帰り検討していただいて次回からの会議で協議していきたいと思っています。

委員 意見としてよろしいですか。この会議がどの程度重視され、意見が取り上げられるのか。以前、北三原小学校と南三原小学校の統合の時にもスクールバスが出て色々検討しました。その時には現在の混乗バスの話はありませんでしたが、実際に統合してスタートしたところ、一般の方も乗るバスだと、私たちが相談して要望を出したことが全く無視されたような詐欺にあったような気持ちになった。私たちも真剣に取り組んでいきたいので、進めていく上でそういう計画があるのなら言っていただきたい。

教育長 基本的な考えとして、今のような具体的な話し合いになってきたら専門部会で通学支援の方法は議論いただいて、その結果をこの再編検討委員会で審議していただく。再編検討委員会の承認を得られましたら、それを受けて私どもはその案でやっていきます。

事務局 既に統合しました富浦・白浜地区で説明させていただきます。白浜地区では新しいバスを購入して長尾地区の子供たちを白浜小学校まで送迎することに決まりました。富浦地区は、現状ある定期路線バスと幼稚園のバスの利活用を図ることに決まりました。両地区が全く別の方法をとることになりました。その理由として、市の考え方の基本で既にある公共交通機関の利活用をまず第1として考えていただく事を説明しつつ、どういう方法があるのか協議していただく。富浦地区の場合は現在ある2台を上手く利用して、特に八東地区の奥の方に入ると道が狭くなり大きなバスも使うことが出来ない。また、保護者の了承も得られましたので、部会での決定が検討委員会で決められました。白浜地区の場合は、唯一スクールバス等の市の公共交通手段を持っていない地区でした。それで震災、台風などの自然災害があった時の子供たちの登下校の支援、それから色々な見学旅行や部活動の遠征等に使うためにも白浜地区もバスが必要ではないかと全く違う検討方法で検討され、それ

を私どもは受けまして手続きを行いました。また、現在行われている富山地区については、既に中学校で使っている通学支援バスも利用し、今持っている2台に新規で1台足して3台体制で行えば出来ると検討が進み、最終的に検討委員会で承認をいただきましたので、それを実現すべく今事務を進めています。

教育長 基本的には通学支援の部会に教育委員会の職員も入って一緒に協議しています。それで体制的な面、他地区とのバランスといった条件を踏まえて協議し、検討委員会で合意を得たものについては着実にやっていきたいと考えています。皆さんから出た結論が全く変わるということは私ども想定しておりませんので御安心をしていただければと思います。

委員 ありがとうございます。

委員 改正された再編計画の中の小中一貫教育の件で、富山地区においては学校建設を伴いながら一貫とのことで、これは具体的にイメージできます。それから三芳地区については連携型の一貫とのことで、これも今の学校の位置関係からすればイメージ出来ます。校長として小中一貫教育は非常に重要な視点だと、今後の学校経営については非常に軸となる考え方だと思っています。そこで千倉・丸山・和田地区においては、その地区の特色にあった一貫教育を推進となっていますが、先ほど示された案ですと一定の距離がある。市として和田・丸山地区における小中一貫教育について、具体的にどんなイメージを持っているのか。

教育長 基本的には小中一貫した考え方で9年間教育をしていきたい。今、各中学校区単位で校長先生方含めて定期的に話し合いを持っていただいて、同じような姿勢で教育を展開していただいています。それは継続的にやっていただきたい。今度は物理的と言いますか、通学距離、通学時間を考えると富山中・富浦中・三芳中の統合は無理があるのではないかと判断をしています。そうなりますと学級数が少なくなり教員数が少なくなる。そうやって来た時の解決の1つの方法として小中学校であれば、小学校中学校の枠を超えて指導できる。そういったものも想定して考えている。和田・丸山地区については、学区がかなり重なっているので通学上の負担はあまり掛けなくて小学校で学年2クラス規模、中学校で学年2クラス規模の学校が出来ると考えている。一貫教育はどうするのかとのことですが、それは先生方が教育については常に話し合っていて一貫した内容でやっていただきたいと考えています。形は違いますが小中同じ考え方の中で南房総市は全てやっていきたい。

委員 今回示された具体的な再編案で南三原小学校区に小学校新校舎を検討するとなっていますが、ある程度具体的なイメージを持ちながら示しているのか。震災後で再編方針の中でも災害に対しても対応力の高い学校とうたっています。

すが、当然だと思います。和田小は海拔については、南三原小に比べれば高いですが、波打ち際から近いということで、やはり3月以降学校の影響に非常に大きな壁になっています。建物の場所は、学校の中の努力とか創意工夫ではいかんともし難い本当に大きな壁です。また、学校は地域住民の避難場所としての機能を比較的同時に既存の施設だと思います。南三原小学区の中にそういった条件に合う場所がありますか。あわせて、中学校ですが丸山中学校を使用するというので、キャパシティの問題はありませんか。和田中と丸山中の生徒が入る容量や適切な教育環境を保障出来るような容量はあるのか。

事務局 海拔は15m以上のところを検討していかなければいけないと私どもは考えています。丸山中学校につきましては、現在普通教室が5部屋、多目的室が1部屋、その他に数学教室や国語教室など特殊な教室を合せて12部屋ありますので、その中で対応出来ると考えています。

教育長 丸山中は教科教室型ですので、ホームベースという生徒が朝行って荷物置いたりホームルームを行ったりする小さい部屋があって、その他に国語を勉強する部屋などがあります。それを全部含めると十分可能だと思います。また、敷地ですが、提案の①番で幼稚園も幼保一体化施設を検討するとなっています。私どもとしては、幼稚園と保育園と小学校は一体のようなものにした方が色々な面でやりやすくなると想定しています。

事務局 今、幼保一体の話が出ていますが、現在、南房総市には両親が勤めている場合などに預けている保育園、4・5歳児を幼児教育している幼稚園が存在しています。昨今の色々な家庭状況や就労状況の変化により、朝ある程度早くから夕方まで幼稚園等で預かって欲しいとの要望が多くなってきました。そこで今度は0歳児から小学校入学する直前まで、4・5歳児については、幼児教育をしながら朝晩の子育て支援も出来るような施設が出来ればと思います。進めているのが幼保一体化という考え方です。今の教育長の話は、今回の再編案として説明したような方向で進む状況であれば、小学校の新校舎を検討する段階で、そういう幼稚園保育園と一緒に子育て支援が出来るような施設も併せて検討出来れば、更に和田・丸山地区の保育園幼稚園小学生の子育て支援、また教育に一貫して与えられるものが出るのではないかとということです。

委員 幼保一元化のお話は基本的に賛成です。賛成ですが、他の市や既に行っている所の状況を見ますと幼稚園の保育園化という形が大変色濃くなって、子育て、預かりの面が強すぎて幼稚園教育が消えてしまっているような状況が多く見えます。小学校の統合も集団の力が育たないから統合したいというように、預かりや子育てだけの面にならないよう幼稚園教育の研究工夫を是非

お願いしたいと思います。

教育長 ここには50年間の幼稚園教育の歴史があります。やはりそれは大事にしていきたいと思っていますので、小学校に上がる前の2年間は幼稚園教育を受けさせる。しかし、幼稚園は9時から2時までが基本的に預かる時間帯になっています。朝早くに子供を預けなくてはいけない家庭の方には、非常に大きな足かせになって来ます。今私どもが進めている幼保一体化は、2年間の幼稚園教育の9時前の2時間程度預かり、9時から2時までは今までの幼稚園教育を充実させていきます。また、2時から夕方までも預かる形を1番の基本として大事にしていきたい。ただ何か所にもありますと私どもも非常に経費もかかってくるので、対応出来ないことからある程度まとめていかなければいけないと思っていますので、御理解御協力いただければと思っています。

委員長他に何かございますか。市からの再編案については、早急に結論を出すことは難しいと思います。今後も引き続き検討するため、次回以降の議題とすることでいいでしょうか。各種団体それぞれ持ち帰りまして役員会あるいは総会等で検討いただければ幸いと思います。よろしくお願ひいたします。

教育長 和田地区だけではなく丸山地区でも同時進行で同じ内容で議論進めていただけないといけないと私どもも非常にナーバスな思いがあります。私どもはこの案が1番良いと思い提案していますので、和田地区は和田地区だけではなく皆さん方色々な繋がりがあるかと思ひますので、丸山地区の方も含めて議論していただひて方向性を出していただければと思っています。よろしくお願ひします。

委員長 次に第3号「第3回検討委員会の日程について」を議題とします。
事務局 第3回の検討委員会の日程について、委員の皆様方が再編案について所属の団体で協議なされると思われまひます。それに対してどのくらい期間が必要なのか分かりまひせんので、検討状況を把握しながら次回の日程を調整していきたくと思ひます。場合により新年度の時期になろうかと思ひますがよろしくお願ひします。

委員長 会議日程について2月3月にやるか。それ以降がいいか。

委員 ある程度抑えていただくことが私どもとしてはやりやすい。おおよその時期を出来たら示していただひた方がそれぞれの団体で主体的に取扱ひが出来るのではないかと思ひます。

事務局 新年度になりますと各種団体で任期満了等により変わることがあると思ひまひます。検討委員につきまひては教育委員会の定例会で諮って改正まひますので、そうなりますと5月下旬くらいになろうかと思ひます。よろしいでしょうか。

委員 第3回目の会議が5月下旬くらいでしょうか。

事務局 はい。私どもが示させていただきました案について、各団体で色々と協議していただければと思っています。少し議論を深めていただき役員が改正になりましても検討委員会でまた話し合いがなされていければと思っています

委員 私は北三原小で統合に関わっていましたが、北三原の時の話し合いも年度が替わり新しい委員が出て来た時、引き継ぎが出来ていなかった。私はそれを一番恐れています。今の話は私たちが会員に説明し意見を吸い上げてこななくてはならないと思いますので年度内にやっていただきたい。

事務局 皆さん方が年度中にやると決めていただければ準備させていただきます。それについて協議いただければと思います。

委員長 年度内にやるのか。新年度にやるのか。どっちにしても新しい人に変わった時点で、引き継いでもらわなければいけない。

事務局 富山地区の検討委員会も年度当初に役員が変わっていますが、過去3年間の会議資料から会議録を含めて引き継ぎをやっています。また、皆さん方で各団体に何らかの形で周知はしていただきたいと思っています。

委員 私は年度内で基本的に賛成です。まだ具体的な論議には至ってないので、もう少し動きをもたらし、具体的に言えば、今日示された案についておおよその感触を1回ここで協議する方がいい。学校に勤める身とすれば色々な見通しや連携など色々なものが出来るのが大事なので、少しでも早めに進め、子供たちに係るソフトの仕事の部分を進められる環境を是非考えていただきたい。重要な問題だと思いますので年度内をお願いしたい。

副委員長 この案をもう少し地域住民の人にも周知させてもいいかと思う。地域住民は普通この案は思っていない。和田小と南三原小が一緒になるだけだと思っている。だから、少しスパンをおいて、地域住民ともう少しこの話をする時間を持った方がいいと私は思います。

委員 3月頃の地区総会の時にお話していただいて、出てきた意見を集約していただくことは不可能でしょうか。この提案をお話していただいた中での意見を少し噛み砕いてまとめていただける方が、私はこの会議で有効なのではと思います。

委員長 区の総会は3月ですか。

委員 4月の初めにやる区もある。

委員長 そうするとそれが終わってからの方がいいのではないか。区長会はいつ。

委員 3月2日。

委員長 3月2日ですか。区長会で説明していただけますか。

事務局 します。

委員 この案を広報に載せることは出来ませんか。インターネットは見なくても広報は見ると思います。無理ですか。

教育長 それも検討します。先ほどお話ありました区長会で説明することやPTAの集まりで話をすることなどについては積極的に対応していきたいと思っています。丸山地区の会議が終わりましたら何らかの方法を考えたいと思います。

委員 丸山の意見も知りたい。

教育長 引き継ぎがうまくいかなかった場合は、別で私どもが何らかの対応をしていきたいと思っています。会議の方ですが言いたい方もいると思いますので年度内に地区の総意を受けて発言出来ればそれで構わないし、総会など無ければ色々な所で話をし、意見を伺って自分なりの考えで御発言いただく形で年度内に開く方向で調整させていただきたいと思っています。

委員長 年度内に3回目を開くことで決定いたします。これをもちまして本日の議事を終了します。

(傍聴人退場)

閉会